

Christian × Tanja Tetzlaff Duo Recital

しなやかな精神で、新たな世界を切り拓く——
テツラフ兄妹のデュオ・リサイタル、ついに実現

クリスティアン・テツラフ ターニャ・テツラフ & デュオ・リサイタル

©Giorgia Bertazzi

Program

コダーイ：
ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 op.7
Zoltán Kodály: Duo for Violin and Cello, op.7

J.S.バッハ：
無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調 BWV1009
Johann Sebastian Bach: Suite for Solo Cello No.3 in C Major, BWV1009 **ターニャ・テツラフ**

J.S.バッハ：
無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第3番 ハ長調 BWV1005
Johann Sebastian Bach: Sonata for Solo Violin No.3 in C Major, BWV1005 **クリスティアン・テツラフ**

ラヴェル：
ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
Maurice Ravel: Sonata for Violin and Cello

2026

5.25 [月]
19:00開演(18:30開場)



浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

料金(全指定席・税込) **¥9,000**

一般発売 2026年1月17日(土)10:00~

主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール

お問合せ: 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く 10:00~18:00)

テツラフ兄妹のデュオ、それはソロの妙技と同族楽器二重奏の均質性や同質性を共生させた、稀有のリサイタルである。世界のトップ・ヴァイオリニスト、クリスティアンの最大の魅力は、「命を懸けるような」と称される迫真の演奏にあり、その入魂の音楽は聴く者の心を掴んで離さない。一方ターニャも1994年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝の実力派チェリストで、ソロでの活躍も顕著。彼女も豊麗かつ深い音楽を奏でるが、端正さや落ち着きをまとっている点が兄との違いだろうか。今回はまず、両者が得意とするバッハの無伴奏曲で各々の個性を堪能することができる。また二人はトリオやカルテットを組んで活動し、雄弁さと均衡を併せ持つ名演を展開している。こうした“合わせの技”は、兄妹の親和性と相まって、コダーイ、ラヴェルという同編成の2大名曲(共にソロの力量も生きる)で大きくモノを言うに違いない。これは終始耳目を離せない濃密なコンサートだ。

柴田 克彦(音楽評論家)

クリスティアン・テツラフ (ヴァイオリン) Christian Tetzlaff, Violin



©Giorgia Bertazzi

エキサイティングな活動を続ける現代最高のヴァイオリニストの一人。幅広いレパートリーとともに現代作品の紹介にも積極的である。チェリビダッケ、ハイティンク、ラトル、サロネ、ネルソンスらの名指揮者のもと、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、ニューヨーク・フィルなどの超一流楽団と共演を重ね、ベルリン・フィルやカーネギーホール、ウィグモア・ホールなどではアーティスト・イン・レジデンスを務めた。2022/23年シーズンにはロンドン響の「ポートレート・アーティスト」に選出され、翌シーズンにはラインガウ音楽祭の「フォーカス・アーティスト」なども務める。室内楽では1994年にテツラフ・カルテットを結成。また妹のターニャやピアニストの故フォークトとのトリオでのシューベルト作品の録音は数々の賞を受賞している。2023年以来、ハイムバッハのシュパヌンゲン音楽祭の芸術監督を務めている。録音は多く、バルトークやベートーヴェン、シベリウスのヴァイオリン協奏曲は多くの賞を受賞。2022年にリリースしたブラームスとベルクの協奏曲も高く評価されている。J.S.バッハの無伴奏ソナタとパルティータは今までに3度録音している。ドイツのヴァイオリン製作者ペーター・グライナーの楽器を使用。

チェリストのターニャ・テツラフは、ソリストとしても室内楽奏者としても、同世代で最も影響力のある音楽家の一人である。彼女の演奏の特徴は、独特の繊細さと同時に、力強さとニュアンスにある。パワフルでニュアンスに富んだ音は、常に培われた音楽性を伴っている。2021年ターニャ・テツラフは、ワイマール市からグレン・グールド・バッハ・フェローシップを授与された初の奨学生となった。この賞金で、音楽ドキュメンタリー「傷ついた地球への組曲」の制作を実現、この映画はバッハの無伴奏チェロ組曲を自然や気候変動の問題に関連づけるもので、2023年4月にワイマールで上映された後、ヨーロッパ各地で上映されており、NHKテレビでも2023年10月に放送され、話題を呼んだ。これまで、ロリン・マゼール、ダニエル・ハーディングらの指揮のもと、チューリッヒ・トーンハレ管、バイエルン放送響、ドイツ・カンマーフィルなどと共演。室内楽にも精力的に取り組み、ハイデルベルク、ハイムバッハ、ベルゲン、エディンバラ等の音楽祭で、ラルス・フォークト、レイフ・オヴェ・アンスネス、兄のクリスティアン・テツラフらと共演を重ねている。1994年より、兄のクリスティアン、ハンナ・ヴァインマイスター、エリーザベト・クッフェラートと共にテツラフ・カルテットのメンバーとしても活動している。使用楽器は、1776年製のジョヴァンニ・バティスタ・グアダニニ。

ターニャ・テツラフ (チェロ) Tanja Tetzlaff, Cello



©Giorgia Bertazzi

チケット販売所

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/>

朝日ホールチケットセンター 検索

イープラス <https://eplus.jp/asahihall/>

※就学前のお子様はご入場いただけません。託児サービスをご利用くださいませ(要予約)。【託児のお申込み】イベント託児・マザーズ:0120-788-222

※都合により公演内容が変更となる場合がございます。※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはおこないませんので予めご了承ください。

お問合せ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00)



浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階 TEL.03-5541-8710

アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)
東京メトロ銀座線(1,2番出口)
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

浜離宮朝日ホール公式



主催公演の最新情報を随時発信しますので、ぜひ「フォロー&いいね!」をお願いいたします!

浜離宮朝日ホール
@HamarikyuAH